

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 09 19	中期総合計画主要施策番号	3-05	担当課	部・課	健康福祉部 障害者支援課	
事業名	心身障害児(者)タイムケア事業 (地域福祉総合助成金交付事業)				内 線	2390	
					E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H8 ~	根拠法令等	心身障害児(者)タイムケア事業実施要綱				
実施方法	県が市町村へ補助金を交付して実施					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	心身障害児(者)を家庭において一時的に介護できない場合等に、事業者等の登録介護者による介護サービスを提供し、障害児(者)及び家族の地域生活を支援する。				
	対 象	市町村(在宅の重症心身障害児(者)、知的障害児(者)、身体障害児、重度身体障害者及び精神障害者とその家族)				
	目指すべき姿	心身障害児(者)及びその家族が、市町村タイムケア事業を活用しながら安心した地域生活が送れる社会を目指す。				
	事業内容	市町村が行うタイムケア事業(各々が適当と認めた民間団体等に障害者の一時的な介護を委託し、その実施状況に応じて経費の支払いを行う)に対する費用について補助を行う。 (補助率:【県】1/2、【市町村】1/2)				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 補助金(市町村) 57,043千円 * (注) 地域福祉総合助成金交付事業の全体額
	最終予算額 (A)		千円	* 300,000	* 285,000	* 267,350	
	決 算 額 (B)		千円	58,154	57,043		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	58,154	57,043		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.20	0.20	0.20	
	人件費単価		千円	1,663	1,652	1,652	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	58,487	57,373			

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) 概算事業費 / 利用人員
	利用人員(活)	時間	2,005	2,059	2,000	
	利用時間(活)	時間	195,406	191,286	194,000	
	1人当たり利用時間(活)	時間	97	93	97	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 利用人員	千円 / 人	29.2	27.9		

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価		評価区分
	家族も含めた障害児(者)の生活支援をするため、前年並み一人当たり年間97時間の利用時間を目標とする。	2,059人の利用について、62市町村からの申請に基づき補助金を交付した。 一人当たり年間93時間の利用時間となり、やや目標は下回ったものの、期待どおりの成果が得られた。		b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・障害児(者)の介護者に対する負担軽減事業への需要は増加傾向にあるが、平成18年10月に日中一時支援事業(国庫補助事業)が創設され、本事業と同一内容のサービス提供が開始されたため、タイムケア事業としてのニーズは横ばいである。 ・今後、上記国庫補助事業との役割分担を含めた事業のあり方を検討する余地がある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	国庫補助事業である日中一時支援事業においてもタイムケアの実施が可能であるが、補助金が十分でないため国への予算措置の要望を引き続き行っていくとともに、役割分担を含めた事業のあり方を検討していく必要がある。また、障害者自立支援法の見直し状況を見ながら、利用者負担のあり方等についても検討の余地がある。 引き続き実施主体である市町村の意見・実情に応じた補助となるよう検討していく。				
	特記事項	市町村が各々の実情に応じて活用できるよう、H21年度から「地域福祉総合助成金交付事業」として他の県単独事業と統合補助金化を行った。				